

No.29-19 平成 30 年 1 月 26 日	<h2 style="margin: 0;">漁況情報・浜の話題</h2>	神奈川県水産技術センター 企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531
------------------------------	---------------------------------------	---

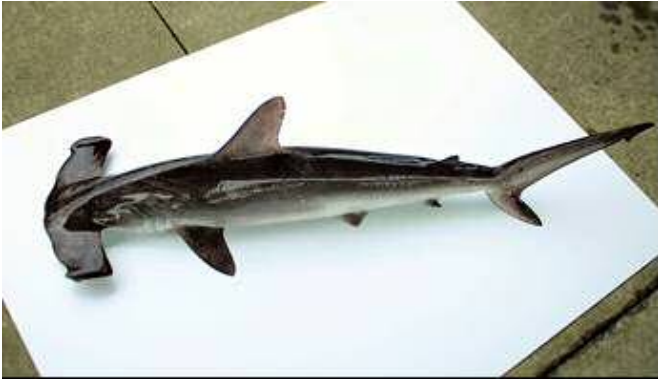
● 浜 の 話 題

- 12月5日～29日、あなご協議会（参加漁協は横浜東、横浜市、横須賀市東部）によるメソ（アナゴの幼魚）調査が実施されました。メソ捕獲量を来遊量の指標として、来期のアナゴ漁獲量を予測する調査で、栽培推進部が支援しています。メソがたくさん来遊して、アナゴが豊漁になることが期待されます。



メソ調査の様子

- 12月18日、小田原市漁協にて第3回小田原市産地協議会全体部会が開催されました。全体部会では10月から12月までにハルネ小田原で開催された地魚直売の結果等について報告があり、計6日間で1000点を超える地魚が販売されました。地魚直売は非常に好評であったので、今後來年度以降の対応について協議を重ねていくこととなりました。
- 12月21日、平塚市漁協所属 丸八丸の杉山さんは、湘南海上保安署において人命救助に対する感謝状が授与されました。杉山さんは、昨年11月19日にしらす船曳網漁操業中に転覆しているボートを2回発見し、計3名を救助しました。杉山さんは、「海のレジャーでも救命胴衣の着用を徹底し、天候に留意して安全に海を楽しんで欲しい」と話していました。
- 12月21日、「小田原漁港・海岸冬季クリーン作戦」が開催されました。キャンペーンには普段漁港を使用している小田原市漁協組合員のほか、（株）小田原魚市場、（公財）相模湾水産振興事業団、小田原市水産海浜課、西部漁港事務所、水産技術センター相模湾試験場の職員や、その他漁港関係者計が参加し、新年に向け漁港や海岸のゴミを掃除しました。
- 12月24日、平塚市漁協は、湘南ベルマーレひらつかビーチパークで、「親子！ビーチ de さばき方教室」を開催しました。当日は、同漁協職員と平塚のシイラやシュモクザメを加工している「湘南いぶし燻製工房」さんが講師となり、定置網の朝どれアジ・サバを使ったさばき方教室を開催しました。「湘南いぶし燻製工房」さんからは、平塚で有効活用に取り組んでいるシュモクザメのフライの試食も提供され、来場者からは「とてもおいしい！サメとは思えない！」との感想があったそうです。



シュモクザメのフライも美味しいと好評でした

- 12月24日、みうら漁協金田湾販売所では朝市が開催され、大勢の来客で賑わいました。カサゴ、メバル、スズキ、タコ、ナマコや新ワカメなどの新鮮な魚介類が販売され、開場と同時に飛びように売れていきました。また、当日は新ワカメのしゃぶしゃぶが無料提供され、シャキシャキとした歯ごたえと味の良さに来場したお客さんも大変喜んでいました。



朝市の様子

- 12月26日、神奈川県漁業士会は、平成29年度第5回役員会を横浜市西区のかながわ県民センターで開催しました。平成30年1月12日に開催される神奈川県漁業者交流大会及び漁業士会総会等の進行や役割分担について議論されました。
- 1月12日、地球市民かながわプラザにて、神奈川県漁業協同組合連合会、神奈川県漁業士会、神奈川県の共催で神奈川県漁業者交流大会が開催され、144名の来場者がありました。
- 1月12日、藤沢市漁協所属 堀川網 葉山さんは、神奈川県漁業者交流大会で「新名産「湘南はまぐり」～資源復活～ブランド化の歩み～」と題し、ハマグリ資源復活に向けた種苗放流と資源管理の取組みと、ブランド化を通じた新たな名産品化について発表しました。この大会でハマグリについての発表は初めてでしたが、漁協や関係機関から質問があり、関心の高さが伺われました。



藤沢市漁協所属堀川網さんからの湘南はまぐりについての活動発表の様子

- 1月12日、地球市民かながわプラザで平成30年度漁業士会通常総会が開催され、61名の会員が出席しました。29年度の事業と収支の報告、30年度の計画及び役員改選等の議案が全て承認されました。漁業士会は新規就業への積極的支援と情報発信に引き続き注力していくとのことです。